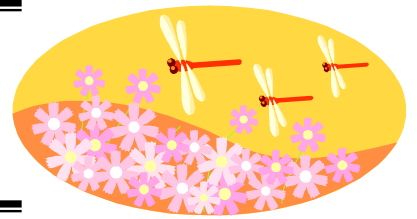


山 事 研 會 報

山梨学校事務研究会 編集発行人 調査広報部



第10号 平成18年10月1日 発行



第2回 山梨県公立小中学校事務職員研究会研修会

平成18年8月10日(木) 富士吉田市・南都留教育会館

- 共済年金について 講師：公立学校共済組合 主任 土屋浩司 様
- 退職手当金について 講師：福利給与課 主査 秋山晶子 様

南都留事務研究会主催による研修会に参加させていただきました。年金の支給内容等の変更や制度改正を中心に説明していただきました。

共済年金については自分たちが第2号被保険者であると基本的なことから説明してもらいました。また過去の年金の制度改正内容の説明や、昭和36年4月2日以降に生まれた人には経過措置がまったくないこともわかりました。具体的な金額は自分の勤務年数と給料月額がわかれば算出できるので試算してみてください。

退職手当は本年度から改正された給料表を適応して計算されます。大きな変更点は算定基礎の額に調整額が加わりました。これは職務の複雑、困難及び責任が大きいほど支給額が増えます。細かい計算方法は当日配られた資料を参考にしてください。

全体を通して、支給内容等の変更や制度改正で不明な点が多かったため、確認の意味もこめて研修ができてよかったです。また勤務状況や勤務年数によって個人ごと支給額がかわり大変複雑で難しい計算をしなければならぬこともわかりました。

□★年金について公立学校共済組合山梨支部のホームページ

http://www.kouritu.go.jp/yamanashi/jigyou/jigyou_cyouki/nenkin_f.htm

第40回 関東地区公立小中学校事務職員研究大会

平成20年度に山梨大会

会員の皆さんはご存知でしょうか？平成20年度山梨県で関東地区公立小中学校事務職員研究大会が開催されます。

関東地区とは茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都(小)・東京都(中)・神奈川県・長野県・山梨県の9都県(10支部)です。

山梨県公立小中学校事務職員研究会でも平成20年度の開催に向け準備を始めています。開催地は甲府市を中心に考えています。参加者は800~1000人程の人が来ると予想されます。会員の先生方にもご協力をお願いします。



第 38 回 全国公立小中学校事務研究大会 関東地区学校事務研究大会

平成 18 年 7 月 27 日(木)～7 月 28 日(金) 神奈川県横浜市

大会テーマ 「子どもの豊かな育ちを支援する学校事務」

こぎだそう！みらいへ勇気と共に！！

Nothing ventured, nothing gained.



- ・今年是全国公立小中学校事務研究大会が神奈川県の横浜市で開催されました。
- 一日目は各分科会に分かれて研究会が開催されました。
- 第 1 分科会 「学校事務を繋ぐ」(高知支部) 学校事務のコラボレーション チームで GO!
- 第 2 分科会 「激動の時代、今、そして未来へ…Ⅲ」(群馬支部) 共同実施元年、その先にプロの事務職員像がみえる
- 第 3 分科会 学校経営参画をめざす事務職員の力量形成のあり方 (埼玉支部)
これからの学校事務職員をどう育成するのか
- 第 4 分科会 子どもを通わせたい学校をめざして (神奈川支部) 事務室経営案と学校予算から考える
- 第 5 分科会 学校を支える予算 (神奈川支部・神事研) まずは財務のプロになって事務職員の存在をアピールしよう!
- 第 6 分科会 「参加」から「参画」へ (神奈川支部) あなたもなれる!
「新時代型事務職員」
- 演習講座 体験しよう!学校組織マネジメント研修 (全事研)
マネジメント能力の向上を目指して
- ・二日目はパシフィコ横浜で全体会が行われました。
- 教育対談「こぎだそう！未来へハマの教育改革」
- 基調講演 「学校評価のねらいと役割」
- ・シンポジウム 「未来を担う子ども達のために～学校改善に事務職員からのアクションを！」
- ・研究大会の中で印象に残っている言葉・・・
- *これからの学校事務は、学校でなくてはならない存在になるために行動していくことが必要。
- *事務が変われば学校が変わる。働きがいのある学校を目指してみんなで向上していく。
- 二日間の研究大会でとてもよい刺激をもらい、自分でも実践できることがないか探すきっかけになりました。

□★第 38 回 全国公立小中学校事務研究大会 関東地区学校事務研究大会

<http://www.zenjiken.org/taikai/kanagawa/index.htm>